

研究計画書

ゼミ名	岡田ゼミ II	チーム名	B KOBE
タイトル	留学生、、、神戸に来て、、、。		
テーマ群	d)国際経済		
メンバー			
研究計画内容	<p>実は、兵庫県で学ぶ留学生の数は少ない。こんなにもいい場所なのに。</p> <p>東京や大阪には日本を代表とする都市として多くの留学生が訪れている。都道府県別に見てみると、東京、大阪に次いで福岡、京都、愛知、神奈川、千葉、兵庫と、兵庫は全国 8 位という微妙な位置に属しているのだ。甲南大学に訪れている留学生に、「どうして兵庫で学ぶ留学生は少ないと思う？」と、問うてみたところ「日本といえば TOKYO、歴史や文化を学びたければ KYOTO。」と何人もの留学生が同じ回答をした。なるほど、と納得できた。これが兵庫で学ぶ留学生の数が少ない原因だ。私たちは兵庫を代表する都市神戸を発信し、まずは神戸を知ってもらうことで、兵庫に行きたい、兵庫で学びたいと思わせるきっかけを提案したい。</p> <p>私たちは、留学生向けのアンケートを実施し、留学生と関わり、生の意見を聞いた。そこで得られた情報の中から、実際に兵庫県が実施している留学生向けの支援や制度について調べた。また、様々な観点から甲南大学と兵庫のいくつかの大学の比較も行った。</p> <p>私たちが考える提案は 2 つだ。1 つ目は留学生向けの「はっぴいめもりーパス KOBE」とスタンプラリーの融合、2 つ目にうちわプロジェクトだ。前者については実施までには至らなかったが、神戸を体感できるとともに「はっぴいめもりーパス KOBE」の認知度と利用率のアップが期待できる。後者については、“神戸”を知るきっかけとなるようなデザインのうちわを実際に作成した。これを兵庫の留学生に配布し利用してもらうことで神戸の発信が期待できる。</p> <p>外国人は皆、神戸といえば“神戸牛”と口を揃えて言うが、私たちはいつも神戸牛を食べているわけではない。お金をかけずに楽しめて、長く住みたいと感ずることができる環境が神戸には整っていることをぜひ知ってほしい。「留学生、、、神戸にきて、、、。」これは、私たちの切実な願いだ。</p>		